



草野 恵利加

12月13日～14日の2日間、和歌山病院で実習をさせていただきました。2回生の頃に障がい者施設実習で一度お世話になっていたので、今回の実習を楽しみにしていました。あれから3年が経ち、新しい病棟が新設されていて、綺麗で明るい印象を受けました。和歌山病院は和歌山の結核拠点病院であり、実際N95マスクをつけて結核病棟に入らせていただきました。陰圧室や二重扉などのシステムを初めて見学させていただき、それまで想像していた重々しい雰囲気とは異なっていたので驚きました。南方院長より胸部X線画像の読影について基本から教えていただきました。これまで読影に苦勞してきたのですが、読影のポイントを押さえることができました。先生の質問を自分達で考えながら意見を出し合って勉強することができたため、楽しく学ぶことができ理解を深めることができました。またブロンコ体操を通して肺区画を体を使ってわかりやすく覚えることができました。駿田副院長より結核の講義をしていただきました。感染様式、画像所見、診断などを学習することができ、結核についての知識を復習することができました。

この2日間、和歌山病院で有意義な実習を行うことができました。今回この実習で学んだことをこれからの実習や医師になってからも生かしていきたいと思います。

最後に、南方院長、駿田副院長をはじめ和歌山病院の先生方、スタッフの方々に心から感謝申し上げます。2日間ありがとうございました。